

授 業 目 名	作業治療学実習Ⅲ（発達）	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	開 発 基 文、権 田 祐 也	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 発達および発達障害に関する基本的な知識を作業療法の評価・治療に応用できる</p> <p>〔学習目標〕 ① プログラム立案時に必要な治療訓練用具の作製を行う。 ② 臨床実践における取り組みを具体的に理解できる。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	事例検討①（事例紹介、事前学習）		〔開発〕
第 2 回	事例検討②（動画検討①）		〔開発〕
第 3 回	事例検討③（実施計画①）		〔開発〕
第 4 回	事例検討④（動画検討②）		〔開発〕
第 5 回	事例検討⑤（実施計画②）		〔開発〕
第 6 回	事例検討⑥（実施計画発表）		〔開発〕
第 7 回	事例検討⑦（実施準備①）		〔開発〕
第 8 回	事例検討⑧（実施準備②）		〔開発〕
第 9 回	事例検討⑨（実施①）		〔権田〕
第 10 回	事例検討⑩（実施準備③）		〔開発〕
第 11 回	事例検討⑪（実施②）		〔権田〕
第 12 回	事例検討⑫（実施準備④）		〔開発〕
第 13 回	事例検討⑬（実施③）		〔権田〕
第 14 回	事例検討⑭（まとめ①）		〔開発〕
第 15 回	事例検討⑮（まとめ②）		〔開発〕
評価方法	レポート・提出課題（100%）		
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 イラストでわかる発達障害の作業療法（医歯薬出版社） 改訂第2版 子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ</p> <p>〔参考図書〕 作業療法学ゴールドマスターテキスト 発達障害作業療法学（メジカルビュー） 脳性麻痺児の家庭療育（医歯薬出版社）</p>		
履修上の 留意点	当事者の方にご協力いただき、より実践的に講義を行います。当事者の方のご協力が無駄とならないよう学習・準備を心がけてください。		
メッセージ	治療学Ⅷ・Ⅸの応用になります。各疾患の病態を理解しておいてください。		